



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 三洋工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山岸 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 園田 崇之 TEL 03-5611-3451
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,718	△1.6	90	△8.0	154	△1.1	91	△2.3
2026年3月期第1四半期	5,811	△7.7	98	△66.9	155	△57.2	93	△32.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 177百万円(65.8%) 2026年3月期第1四半期 106百万円(△25.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	32.64	—
2026年3月期第1四半期	30.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	26,841	20,744	77.3	7,398.39
2026年3月期	28,651	20,904	73.0	7,455.23

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 20,744百万円 2026年3月期 20,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	100.00	—	120.00	220.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	100.00	—	110.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	29,500	1.9	1,750	△4.4	1,950	△4.5	1,300	△7.1	463.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	2,960,000株	2026年3月期	2,960,000株
2027年3月期1Q	156,038株	2026年3月期	156,037株
2027年3月期1Q	2,803,962株	2026年3月期1Q	3,053,061株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月～2026年6月)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により個人消費と設備投資の持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調を継続しました。その一方で中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・原材料価格の高騰などによる物価上昇の長期化や、金融資本市場の変動の影響など、景気の先行きについては依然として不透明かつ予断を許さない状況が続いています。

当社グループの関連する建築業界におきましては、前年同期の新設住宅着工戸数が低調であったため、持家、貸家、分譲住宅では前年同期比で増加したものの例年までには至らず、民間非居住建築物においては事務所の着工床面積が前年同期比で増加したものの、店舗、工場および倉庫の着工床面積が減少したことを受け、建築需要は総じて低調に推移いたしました。

こうした経営環境の中で当社グループは、中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 79」の2年目の計画に沿って、『高付加価値化追求に向けた事業基盤強化とサステナブル経営推進による企業価値向上』を基本方針とし、5つのテーマを掲げ、「経済的価値」と「社会的価値」を両立する持続可能な価値創造グループを目指し、ステークホルダーと協働共栄で事業活動に取り組み、中長期的な企業価値の向上の実現に向けて邁進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、全体の売上高は5,718百万円(前年同期比1.6%減)となり、利益面におきましては、営業利益90百万円(前年同期比8.0%減)、経常利益154百万円(前年同期比1.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益91百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅用製品は受注が堅調に推移しましたが、ビルや商業施設向けの一般製品や耐震天井製品に伸び悩みが見られたことから、軽量壁天井下地全体の売上高は減少となりました。

また、床システムにつきましては、学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やマンション向け集合住宅用の遮音二重床製品、ウッドデッキなどが堅調に推移したことから、床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、エキスパンションジョイント・カバーが減少しましたが、アルミ笠木およびルーバー製品が伸長したことから、アルミ建材全体の売上高は増加となりました。

この結果、売上高は4,736百万円(前年同期比4.2%減)、セグメント利益24百万円(前年同期比80.1%減)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社(株式会社三洋工業九州システムほか)につきましては、主力取扱い製品である鋼製床下地材製品や床関連商品を中心に設計指定活動を通じてその拡販に努めてまいりました。

この結果、システム会社全体の売上高は1,109百万円(前年同期比18.4%増)、セグメント利益は46百万円(前年同期セグメント損失52百万円)となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高152百万円(前年同期比14.1%減)、セグメント損失は8百万円(前年同期セグメント損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、主に受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,810百万円減少し26,841百万円となりました。

負債は、主に電子記録債務、未払法人税等、賞与引当金等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,650百万円減少し、6,096百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払等により、前連結会計年度末に比べ159百万円減少し、純資産合計は20,744百万円となりました。この結果、自己資本比率は77.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2026年4月1日から2027年3月31日）の連結業績予想につきましては、2026年5月11日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,353	6,610
受取手形、売掛金及び契約資産	4,775	3,762
電子記録債権	2,846	2,392
商品及び製品	1,451	1,718
仕掛品	160	166
原材料及び貯蔵品	794	930
その他	119	181
流動資産合計	17,501	15,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,472	3,310
機械装置及び運搬具（純額）	695	1,126
建設仮勘定	1,514	22
土地	2,728	2,728
その他（純額）	308	332
有形固定資産合計	7,720	7,519
無形固定資産		
ソフトウェア	64	54
その他	25	25
無形固定資産合計	90	80
投資その他の資産		
投資有価証券	1,260	1,389
繰延税金資産	6	16
退職給付に係る資産	1,135	1,140
賃貸不動産（純額）	804	798
その他	141	143
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,339	3,478
固定資産合計	11,150	11,078
資産合計	28,651	26,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,561	1,560
電子記録債務	2,681	1,758
短期借入金	665	665
未払法人税等	383	86
賞与引当金	515	185
役員賞与引当金	26	6
その他	902	783
流動負債合計	6,734	5,046
固定負債		
繰延税金負債	470	499
退職給付に係る負債	49	50
その他	492	499
固定負債合計	1,012	1,049
負債合計	7,747	6,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	17,435	17,190
自己株式	△501	△501
株主資本合計	19,863	19,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	692	787
退職給付に係る調整累計額	348	338
その他の包括利益累計額合計	1,041	1,126
純資産合計	20,904	20,744
負債純資産合計	28,651	26,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,811	5,718
売上原価	4,113	3,982
売上総利益	1,698	1,736
販売費及び一般管理費	1,599	1,645
営業利益	98	90
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	23
受取賃貸料	36	36
売電収入	11	11
その他	9	9
営業外収益合計	78	81
営業外費用		
支払利息	1	2
不動産賃貸費用	12	12
売電費用	3	3
その他	3	0
営業外費用合計	21	18
経常利益	155	154
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	155	154
法人税等	61	62
四半期純利益	93	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	93	91

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	93	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	95
退職給付に係る調整額	△2	△9
その他の包括利益合計	13	85
四半期包括利益	106	177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106	177
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,750	921	5,671	139	5,811
セグメント間の内部売上高 又は振替高	192	14	207	37	245
計	4,942	936	5,879	177	6,056
セグメント利益又は損失(△)	121	△52	68	△3	65

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	68
「その他」の区分の損失	△3
セグメント間取引消去	33
四半期連結損益計算書の営業利益	98

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,537	1,078	5,615	103	5,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	199	30	229	49	279
計	4,736	1,109	5,845	152	5,998
セグメント利益又は損失(△)	24	46	70	△8	62

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	70
「その他」の区分の損失	△8
セグメント間取引消去	28
四半期連結損益計算書の営業利益	90

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	114百万円	152百万円